

## スズキ、ハイブリッドを搭載した 小型乗用車 新型「ソリオ」、「ソリオ バンディット」を発売



ソリオ HYBRID SZ



ソリオ バンディット HYBRID SV

スズキ株式会社は、新しく開発したハイブリッドを搭載した小型乗用車 新型「ソリオ」、「ソリオ バンディット」を追加して、11月29日より発売する。

このたび発売する新型「ソリオ」、「ソリオ バンディット」のハイブリッド仕様車は、コンパクトなボディと広い室内空間を可能にしたソリオ本来の魅力はそのままに、スズキ独自のハイブリッドシステムを搭載し、コンパクトハイトワゴンNo. 1<sup>\*1</sup>の低燃費 32.0 km/L<sup>\*2</sup>と、力強い加速感のある走りを両立した。

新しく開発したハイブリッドは、コンパクトながら瞬間的に大きな力を発揮する駆動用モーター（MGU=Motor Generator Unit）と、軽量コンパクトで伝達効率がよいトランスミッションであるオートギヤシフト（AGS）を組み合わせたスズキ独自のパラレル方式ハイブリッドシステムを採用した。変速時にMGUの駆動力で補うことで、スムーズな加速を実現した。

MGUとAGSの相乗効果により、「燃費性能のさらなる向上」と「加速感のある力強い走り」を両立した。「標準モード」と「エコモード」の2つの走行モードを設定し、発進・加速時などでキビキビとした走り、EV走行の頻度を高めて燃費優先の走りを使い分けることができる。また、ハイブリッド仕様車はエコをイメージしたブルー基調の専用エクステリアとインテリアを採用した。さらに、全車エコカー減税の免税対象車とした。

「ソリオ」、「ソリオ バンディット」はすでに販売しているマイルドハイブリッド仕様車に加え、低燃費と力強い走りを両立させたハイブリッド仕様車を投入することで、お客様のライフスタイルや使用用途に合わせて選んでいただける、これまでにないコンパクトハイトワゴンを提案する。

### ハイブリッド搭載 新型「ソリオ」、「ソリオ バンディット」の主な特長

1. EV走行を実現したスズキ独自のハイブリッドシステム  
コンパクトハイトワゴンNo. 1<sup>\*1</sup>の低燃費 32.0 km/L<sup>\*2</sup>を達成
2. 2つの走行モードで、キビキビとした走り、燃費優先の走りを実現
3. エコをイメージした専用エクステリアとインテリア

※1 コンパクトハイトワゴン=総排気量1.5L以下・全高1,600mm以上の2列座席5ドアワゴン。  
JC08モード走行燃費（国土交通省審査値）に基づく。2016年11月現在、スズキ調べ。

※2 燃料消費率 JC08モード走行（国土交通省審査値）

## ハイブリッド搭載 新型「ソリオ」、「ソリオ バンディット」の特長

### 1. EV走行を実現したスズキ独自のハイブリッドシステム

#### コンパクトハイトワゴンNo. 1<sup>\*1</sup>の低燃費32.0km/L<sup>\*2</sup>を達成

- ・K12C型デュアルジェット エンジンに、発電も可能な駆動用モーター（MGU）と伝達効率に優れたトランスミッションであるオートギヤシフト（AGS）を組み合わせた、軽量コンパクト、高効率なスズキ独自の平行方式ハイブリッドシステムを採用した。
- ・EV走行も可能なハイブリッドシステムを搭載しながら、100V高電圧リチウムイオンバッテリーを荷室床下に格納するなど、ソリオ本来の広い室内空間はそのまま確保した。
- ・走行中に蓄えた100V高電圧リチウムイオンバッテリーの電力をMGUに供給することで、モーターによるアシスト走行に加え、クリープ走行時や約60km/h以下での一定速走行時にはエンジンが自動停止し、EV走行を可能にした。
- ・AGSとMGUを組み合わせることで、加速感のあるキビキビとした走りや、なめらかな変速を実現した。
- ・システム構成要素の軽量コンパクト化を徹底的に追求することにより、全車1,000kg未満の車両重量を達成した。
- ・コンパクトハイトワゴンNo. 1<sup>\*1</sup>の低燃費32.0km/L<sup>\*2</sup>を達成し、全車をエコカー減税の免税対象車とした。

### 2. 2つの走行モードでキビキビとした走りと、燃費優先の走りを実現

- ・力強く、キビキビとした走りの「標準モード」と、EV走行の頻度を高めてエコドライブをサポートする「エコモード」を設定。
- ・標準モード、エコモードともに約60km/h以下での一定速走行時のEV走行を可能にした。

#### 【標準モード】

- ・レスポンス良く駆動力が発生し、加速感のあるキビキビとした走りが楽しめる。

#### 【エコモード】

- ・駆動力の発生を抑えたゆるやかな加速と、EV走行の頻度を高めることでいつも通りの運転でもエコドライブをサポートする。
- ・さらに、エコモードでは停車からの発進時、モーターによるクリープ走行を可能にした。停車、発進を繰り返すことの多い渋滞や駐車場などでも、燃料消費を抑え、EV走行のまま静かに移動できる。

### 3. エコをイメージした専用エクステリアとインテリア

#### エクステリアデザイン

- ・フロントグリルのスケルトン部に、ブルームッキを採用。
- ・リヤコンビネーションランプおよびバックランプレンズをブルークリアタイプに変更。
- ・左右フェンダーとバックドアに専用エンブレムを装着。

#### インテリアデザイン

- ・ブルームタリック塗装のインパネアッパーガーニッシュ。
- ・青色基調の専用デザインのメーターに、MGUの作動状態を表示するモーターパワーメーターを採用。

●販売目標台数(月間) 「ソリオ」、「ソリオ バンディット」シリーズ 合計 3,500台

●メーカー希望小売価格(消費税8%込み)

機種名	エンジン	駆動	変速機	燃料消費率 JC08モード走行 (km/L)	エコカー減税 (取得税/重量税)	価格(円)
ソリオ						
HYBRID SX	1. 2L DOHC 吸排気VVT (ハイブリッド)	2WD	5AGS	32.0	免税	1,917,000
HYBRID SZ						2,062,800
ソリオ バンディット						
HYBRID SV	1. 2L DOHC 吸排気VVT (ハイブリッド)	2WD	5AGS	32.0	免税	2,046,600

\* 2WDは前輪駆動。

\* 価格には、リサイクル料金、保険料、税金(除く消費税)、登録等に伴う費用は含まれない。

\* 環境対応車普及促進税制による自動車取得税の減税措置は平成29年3月31日新車登録、自動車重量税の減税措置は平成29年4月30日新車登録まで。

\* デュアルカメラブレーキサポート装着車[デュアルカメラブレーキサポート、誤発進抑制機能、車線逸脱警報機能、ふらつき警報機能、先行車発進お知らせ機能、エマージェンシーストップシグナル、クルーズコントロールシステム]は、59,400円高。

\* 全方位モニター付メモリーナビゲーション装着車[メモリーナビゲーション(フルセグTV・DVD/CDプレーヤー・AM/FMラジオ付、Bluetooth®対応)、TV用ガラスアンテナ、ハンズフリーマイク、外部端子(USB、AUX)、全方位モニター]は、127,440円高。(HYBRID SZ、バンディット HYBRID SV) \*Bluetoothは米国 Bluetooth SIG,INC.の登録商標。

\* 全方位モニター付メモリーナビゲーション装着車[メモリーナビゲーション(フルセグTV・DVD/CDプレーヤー・AM/FMラジオ付、Bluetooth®対応)、TV用ガラスアンテナ、ハンズフリーマイク、外部端子(USB、AUX)、全方位モニター、ステアリングオーディオスイッチ]は、129,600円高。(HYBRID SX)

\* 後席右側ワンアクションパワースライドドア装着車は、46,440円高。(バンディット HYBRID SV)

\* ピュアホワイトパール塗装車は、21,600円高。

\* プレミアムシルバーメタリック、ミッドナイトバイオレットメタリック塗装車は、21,600円高。(バンディット HYBRID SV)

\* ブラック2トーンルーフ仕様車は、43,200円高。(バンディット HYBRID SV)